

2025 年 IEEE 東京支部 総会資料

2025 年 3 月 27 日

IEEE 東京支部

<https://www.ieee-jp.org/section/tokyo/>

2025年IEEE東京支部総会

総 会

日 時： 2025年3月27日（木） 14時50分～15時25分

場 所： 機械振興会館 6階 6-66（東京都港区芝公園 3-5-8）

議 題： **【報告事項】**

第1号議案： 2025-2026年役員・理事選出

第2号議案： 2024年活動報告

第3号議案： 2024年決算報告

第4号議案： 2025年活動計画

第5号議案： 2025年予算

新 Fellow 表彰式

日 時： 2025年3月27日（木） 15時35分～16時05分

場 所： 同 上

講 演 会

日 時： 2025年3月27日（木） 16時20分～17時30分

場 所： 同 上

講演者： 松澤 昭 氏（株式会社テックイデア代表取締役/東京科学大学名誉教授）

2022年IEEE Donald O. Pederson Award in Solid-State Circuits 受賞

演 題： 「A/D変換器開発の歴史と発展」

2024-2025 年 IEEE 東京支部役員・理事・委員会 (案)

1. 役員

Chair	支部長	平本 俊郎	(東京大学)
Vice Chair	副支部長	鈴木 教洋	(日立総合計画研究所)
Secretary	セクレタリ	久本 大	(日立製作所)
Treasurer	トレジャラ	菅原 真司	(千葉工業大学)

2. 理事会メンバー

- | | |
|--------------------|------------------------|
| *平本 俊郎 (東京大学) | *吉田 嵩 (東京都立産業技術高等専門学校) |
| *鈴木 教洋 (日立総合計画研究所) | *河東 晴子 (三菱電機) |
| *久本 大 (日立製作所) | 林 秀樹 (横浜国立大学) |
| *菅原 真司 (千葉工業大学) | 小野寺 俊 (富士通株式会社) |
| *木村 昭悟 (日本電信電話(株)) | 相澤 清晴 (東京大学) |
| *馬場 俊彦 (横浜国立大学) | 奥村 治彦 (神奈川工科大学) |
| *熊田 亜紀子 (東京大学) | 樋口 健一 (東京理科大学) |
| *平野 章 (東京電機大学) | 野中 誉子 (湘南工科大学) |
| *松本 敦 (情報通信研究機構) | 浅井 光太郎 (三菱電機) |
| *武田健一 (日立製作所) | |

(注：*印は、理事会の Voting Member)

3. 常設委員会

Committee	Chair	Vice Chair	Secretary
Chapter Operations	木村 昭悟 (NTT)	小畑 晴香 (東芝)	大石 康智 <small>(NTT コミュニケーション科学基礎研究所)</small>
Fellow Nominations	馬場 俊彦 (横浜国立大学)	松尾 慎治 (NTT)	荒川 太郎 (横浜国立大学)
Membership Development	熊田 亜紀子 (東京大学)	舟橋 政樹 (古河電気工業株式会社)	山岸 健人 (東京大学)
Nominations	平野 章 (東京電機大学)	那賀 明 (茨城大学)	田中 貴章 (NTT 未来ねっと研究所)
Technical Program	松本 敦 (NICT)	秋田 耕司 (東芝)	原 紳介 (NICT)
Publications	武田健一 (日立製作所)	久本 大 (日立製作所)	鈴木 麻由美 (日立製作所)
Student Activities ☆	吉田 嵩 <small>(東京都立産業技術高等専門学校)</small>	秦野 亮 (東京理科大学)	大越 康晴 (東京電機大学)
History	河東 晴子 (三菱電機)	喜々津 哲 (東芝)	中村 祐子 (日立製作所)

☆Student Activities Student Representative 未定

2024年東京支部活動報告

2024年12月10日

Organizational Activities

- 2024年IEEE東京支部総会
3月14日(木) 14:50～15:20,機械振興会館, 参加者: 41名
2023年活動実績および会計、2024年活動計画および予算が報告された。
- 理事会
 - ・第1回: 2024年3月14日(木) 12:00～14:00 (機械振興会館), 参加者: 18名
 - ・第2回: 2024年6月16日(金), 15:00～17:00 (東芝研究開発所), 参加者: 19名
 - ・第3回: 2024年9月11日(月), 16:00～18:00 (LINE), 参加者: 19名
 - ・第4回: 2024年12月1日(金), 15:00～17:00 (機械振興会館), 参加者: 27名

Membership Development Activities

- 会員増加と維持の取組
 - ・会員維持施策として、在籍年数バッジを製作。同一デザインで色の異なる5, 10, 20, 25, 30, 40年の6種類を製作し、毎年2月に配布する。
※2024年4月配布数 (5年: 204、10年: 179、20年: 130、25年: 157、30年: 121、40年: 51、合計: 842)
- フェロー・シニア会員増強の取組
 - ・フェロー増強のベースとなるSeniorメンバ増強のために、JCと共催で実施した「Senior Member申請支援Webinar」の録画データを継続公開。シニア申請のサポートも含めて、広くシニアメンバーを増やす取り組みを実施継続している。この体制での推進方法がどう機能するのかを引き続きウォッチし、チェックした上で、次年度への取り組みへフィードバックし、より良い施策を検討予定。フェロー増強については、新たにJC内に発足したFellow Promotion Ad-Hocコミティと連携して、Fellow候補者の掘り起こしを図る

Chapter Activities

- 国際会議のMOU締結: 5件 (TCS 2件、FCS 3件)
- 2024年よりJC COCから東京支部Chapter支援費に関する業務を引継ぎ、支援費審査を行った。これまで全12回の役員会を開催し、延べ53件を審議、うち40件を承認した。

Professional and Continuing Education Activities

● 講演会

1. 2024年3月14日(木)：東京支部講演会
演題：「オートメーションの科学：技術の前照灯のあゆみ」
講師：木村 英紀 氏 (システムイノベーションセンター：副センター長、東京大学・大阪大学名誉教授)
場所：機械振興会館 参加人数：41名
2. 2024年5月14日(火)：東京支部講演会
演題：「電池レス・ウェアラブルデバイスのための環境発電」
講師：鈴木 雄二 (東京大学大学院工学系研究科・機械工学専攻・教授)
2020年 IEEE Fellow
場所：機械振興会館、Zoom 併催 参加人数：84名
3. 2024年6月11日(火)：LMAG-Tokyo 主催
演題：「IOWN 構想実現に向けたデバイス技術」
*電気通信の歴史と IOWN に関する NTT 武蔵野研究開発センタ 見学および講演会
講師：岡田 颯 氏 (日本電信電話株式会社 研究開発担当役員 NTT 先端技術総合研究所 所長) (慶応義塾大学名誉教授、元 IEEE 東京支部 Chair、元電子情報通信学会会長)
場所：NTT 武蔵野研究開発センタ 参加人数：33名
4. 2024年6月22日(土)：SIGHT 主催
演題：「さがみこべリーガーデンの見学および講演・討論会」
場所：さがみこべリーガーデン、アビオファーム 参加人数：24名
5. 2024年8月2日(金)：東京支部講演会
演題：「コスト効率が良くセキュアな暗号」
講師：川村 信一 氏 (産業技術総合研究所/2023年 IEEE Fellow)
場所：Zoom 参加人数：70名
6. 2024年8月21日(水)：LMAG 主催
演題：「ビッグデータ同化：ゲリラ豪雨予測から予測科学へ」
講師：三好 建正 氏
(理化学研究所 開拓研究本部主任研究員、同数理創造プログラム副プログラムディレクター、科学技術振興機構プログラムディレクター、京都大学大学院理学研究科客員教授、メリーランド大学大気海洋科学部客員教授、海洋研究開発機構アプリケーションラボ招聘上席研究員) 場所：Zoom 参加人数：178名
7. 2024年8月31日(土)：東京支部主催
演題：2024 IEEE Industry Engagement Workshop in Tokyo
講師：IEEE President Thomas M. Coughlin 氏 他

- 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター 参加人数：54名
8. 2024年8月24日(火)：東京支部講演会
演題：「ロボット聴覚：ロボットの耳の機能構築とその多面的な新展開」
講師：中臺 一博 氏 (東京工業大学/2023年 IEEE Fellow)
場所：Zoom 参加人数：76名
9. 2024年11月8日(金)：東京支部講演会
演題：「レーダ・衛星通信サブシステムのコンパクト化を支えるアンテナ給電系・BFN技術」
講師：宮崎 守泰 氏 (三菱電機株式会社/2022年 IEEE Fellow)
場所：機械振興会館 6階 6D-4・Zoom 参加人数：56名
10. 2024年11月14日(木)：東京支部講演会
演題：「パルスオキシメーターの開発・普及」 IEEE マイルストーン賞 (IEEE Milestone) 認定記念講演会
講演1：白川 功 氏 (IEEE JCHC Chair)
講演2：小林 直樹 氏 (日本光電工業(株) 荻野記念研究所)
場所：オンライン Teams 参加人数：100名
11. 2024年12月26日(木)：東京支部講演会
演題：「カーボンニュートラル社会実現に向けた SF6 ガス規制の動向と、黎明期における SF6 フリー開閉装置の開発および最新の開発動向」
講師：六戸 敏昭 氏 (株) 日立製作所 パワーグリッドビジネスユニット 電力流通事業部 事業部長付 工学博士、IEEE Fellow
場所：機械振興会館 6階 6-67・Zoom

Students Activities

1. キャリア構築入門ワークショップ
(東京理科大学 SB, Tokyo YP 主催, 明治大学 SB, 東京農工大学 SB 共催)
年月日/会場：2024年6月1日
出席者数：21名(会員14名 非会員7名)
2. 電気の不思議を学ぶ！静電気や放電プラズマについて学ぼう！(東京電機大学 SB 共催)
年月日/会場：2024年6月29日
出席者数：42名(小学生, IEEE 非会員)
3. シャトルウインドカーの製作 ～反転機構を持った風力車の作成～ (東京電機大学 SB 共催)
年月日/会場：2024年7月21日(日) 東京都立産業技術高等専門学校 荒川

キャンパス

出席者数：9名（中高生, IEEE 非会員）

4. **IEEE Tokyo YP サマーサイエンススクール 2024**
(東京農工大学, 明治大学, 早稲田大学 SBs 共催)
年月日／会場： 2024年7月27日 東京都立産業技術高等専門学校 荒川キャンパス
出席者数：36名(会員7名 学生会員6名 小学生11名)
5. **SBLTW 2024 Student Activities Workshop・R10-SYWL CONGRESS 2024**
年月日／会場： 2024年8月29日 - 9月1日 国立オリンピック記念青少年総合センター
出席者数：東京支部 SB から東京電機大学, 東京農工大学, 東京理科大学, 明治大学, 早稲田大学の9名が参加
6. **ユメココ教室 (東京 SIGHT 主催, 東京電機大学 SB 共催)**
年月日／会場：2024年9月9日 青森県むつ市第二田名部小学校
出席者数：58名(東京電機大学 SB2名が参加)
7. **The 14th IEEE Tokyo YP STEP Event**
(IEEE Tokyo YP, 明治大学 SB 主催, 東京理科大学, 東京農工大学, 東京電機大, 早稲田大学 SBs 共催)
年月日／会場： 2024年9月18日 (株)東芝開発研究センター イノベーション・パレット
出席者数: 35名 (会員13名 非会員22名)
8. **第15回 IEEE キャリアデベロップメントワークショップ (東京支部 SYWL で共同開催, 東京理科大学, 明治大学, 東京農工大 SBs 共催)**
年月日／会場： 2024年11月16日 機械振興会館
出席者数: 23名 (会員15名 非会員8名)
IEEE Life Member Committee Group Mentoring Initiative の Pilot プロジェクトとして実施
9. **The 21st IEEE TOWERS**
年月日／会場： 2024年11月23日 神奈川工科大学
東京支部 SAC より運営委員への感謝状贈呈
10. **WIE symposium (共催) (予定)**
年月日／会場： 2024年12月21日 東海大学 品川キャンパス (ハイブリッド開催)

Affinity Group Activities

● Young Professionals (YP)

主催/共催

1. YP Salon 2024 第1回 (主催)
発表者: Antonio Tejero de Pablos (サイバーエージェント / IEEE Tokyo YP Secretary)
テーマ: 「AI とは? -異種データ学習-」
年月日/会場: 2024年3月16日 オンライン開催
出席者数: 6名 (会員6名 ※後日視聴込み)
2. IEEE Young Professionals オンライン説明 (主催, 日本の各支部 YP と共同開催)
年月日/会場: 2024年3月27日 オンライン開催
出席者数: 30名 (会員26名 非会員4名)
3. IEEE Japan YP Study Lab / YP meet (共催、IEEE Kansai/Sendai YP 主催)
年月日/会場: 2024年5月18日 東北大学 青葉山東キャンパス / オンライン (ハイブリッド開催)
出席者数(Japan YP Study Lab) : 87名 (会員58名 非会員29名)
出席者数(YP meet) : 14名 (会員14名)
4. キャリア構築入門ワークショップ (共催、IEEE 東京理科大 SB 主催)
講師: Antonio, 小木曾, 柯, 味藤, 上原, 石垣 (いずれも IEEE Tokyo YP 所属)
年月日/会場: 2024年6月1日 オンライン開催
出席者数 21名 (会員14名 非会員7名)
5. IEEE Tokyo YP サマーサイエンススクール 2024 (主催)
年月日/会場: 2024年7月27日 東京都立産業技術高等専門学校 荒川キャンパス
出席者数: 36名 (会員13名 非会員23名)
6. IEEE R10 YP CLAP 2024 (共催、IEEE R10 YP 主催)
年月日/会場: 2024年8月29日 国立オリンピック記念青少年総合センター
出席者数: 103名 (会員100名 非会員3名)
7. The 14th IEEE Tokyo YP STEP Event (主催)
年月日/会場: 2024年9月18日 (株)東芝研究開発センター イノベーション・パレット
出席者数 35名 (会員13名 非会員22名)
報告書: 別添資料「IEEE_Tokyo_YP_14thSTEP イベント_開催報告書.pdf」参照
8. 第15回 IEEE キャリアデベロップメントワークショップ (主催, 東京支部 S/Y/W/L で共同開催, IEEE Life Member Committee Group Mentoring Initiative の Pilot プロジェクトとして実施)
年月日/会場: 2024年11月16日 機械振興会館 6階 6D-4 会議室

出席者数 23 名 (会員 15 名 非会員 8 名)

9. YP Salon2024 第 2 回 (主催)

発表者: Kenji Uchino (ペンシルベニア州立大学)

テーマ: 「How to Succeed in the United States」

年月日/会場: 2024 年 11 月 30 日 オンライン開催

出席者数 12 名 (会員 12 名)

10. YP Salon2024 第 3 回 (主催)

発表者(順不同): 稲森 真美子, 吉田 嵩, 粕谷 美里, 宮本 隆典, 小木曾 里樹

テーマ: 「出産育児オンライン座談会」

年月日/会場: 2024 年 12 月 1 日 オンライン開催

出席者数 8 名 (会員 8 名)

11. YP Salon2024 第 4 回 (主催)

テーマ: 「IEEE Tokyo YP Tech Meetup」

年月日/会場: 2024 年 12 月中 (対面式、開催日・会場調整中)

役員会・運営会議

1. キックオフミーティング

年月日/会場: 2024 年 2 月 4 日 東京都立産業技術高等専門学校/オンライン
(ハイブリッド開催)

出席者数: 9 名 (会員 9 名、うち現地参加 6 名、オンライン 3 名)

その他

1. IEEE R10 SYWL Congress

年月日/会場: 2024 年 8 月 29 日～9 月 1 日 国立オリンピック記念青少年総合
センター

2. YP meet / IEEE Japan YP Career Lab 2024 (協力, IEEE Kansai/Nagoya YP 主催)

年月日/会場: 2024 年 11 月 9 日・10 日 大阪府立国際会議場 会議室 1202

3. The 21 IEEE TOWERS (後援)

年月日/会場: 2024 年 11 月 23 日 神奈川工科大学

● Life Members Affinity Group (LMAG)

1. 1 月 11 日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (オンライン)
2. 2 月 14 日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (オンライン)
3. 3 月 14 日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (機械振興会館)
4. 3 月 14 日 LMAG-Tokyo 総会開催 (機械振興・オンライン)
5. 3 月 17 日 東京支部 TPC 主催/LMAG-Tokyo 共催講演会開催

6. 4月23日 LMAG-Tokyo ニュースレター第40号発行
7. 5月14日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (機械振興会館)
8. 6月18日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (機械振興会館)
9. 7月3日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (メール審議)
10. 7月3日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (オンライン)
11. 8月29日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (国立オリンピック記念青少年総合センター)
12. 9月15日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (オンライン)
13. 9月18日 LMAG-Tokyo ニュースレター第41号発行
14. 10月22日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (メール審議)
15. 11月8日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (機械振興会館)
16. 12月26日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (機械振興会館) *予定

・その他、JC LMC,R10LMC の会議への参加、各種イベントへの参加協力を実施。
*共催講演会イベントについては Professional and Continuing Education Activities の項目に情報掲載済み。

● Women in Engineering

◆主催・共催・協賛イベント

1. “International Women’s Day” online coffee break 【主催】
2024年3月8日(水) 12:00-13:05 オンライン
出席者数： 10名 (会員10名 非会員0名)
2. IEEE Sapporo Section WIE Idea Jam 2024 【共催】
2024年4月6日(土)～4月7日(日) @ 函館／公立はこだて未来大学
出席者数： 54名
3. “International Women in Engineering Day + IEEE WIE Day”
online coffee break 【主催】
2024年6月23日(日) 14:00-15:10 オンライン
出席者数： 6名 (会員6名 非会員0名)
4. IEEE R10 SYWL Congress 2024 【共催】
2024年8月29日(木)～9月1日(日) @ National Olympics Memorial Youth Center, Tokyo
出席者数： 334名
5. IEEE Day” online coffee break 【主催】
年月日／会場： 2024年10月1日(火) 12:00-13:00 オンライン
出席者数： 10名 (会員8名 非会員2名)
6. 第15回 IEEE Career Development Workshop - Group Mentoring Pilot 【共催】

(総会－第2号議案)

2024年11月16日(土) 14:00-17:30 @ 機械振興会館

出席者数： 23名(会員15名非会員8名)

7. The 21st IEEE Transdisciplinary-Oriented Workshop for Emerging Researchers (TOWERS) 【共催】

2024年11月23日(土) 9:30-17:30 @ 神奈川工科大学

Nonaka Treasurer アワード審査員、授与式参加

8. IEEE Shin-etsu Section Student Branch Oral Session 【共催】

2024年12月20日(金) @ 信州大学(hybrid)

9. WIE 2024 Symposium 【主催】

2024年12月21日(土) @ 東海大学品川キャンパス(hybrid) 予定

10. “Red Carpet” セレモニー 【主催】 1/3

2024年12月22日(日) @ 東京開催予定

◆IEEE Tokyo/Shin-etsu Joint Sections WIE 役員会

1. 第1回コア役員会： 2024年2月15日(木) 20:00-21:00 JST (オンライン)
2. 第1回役員会： 2024年2月26日(月) 20:00-20:45 JST (オンライン)
3. 第2回コア役員会： 2024年5月7日(火) 20:00-21:10 JST (オンライン)
4. 第2回役員会： 2024年6月29日(土) 14:00-15:20 JST @ 信州大学工学部 (hybrid)
5. 第3回コア役員会： 2024年8月25日(水) 14:00-15:45 JST (オンライン)
6. 第4回コア役員会： 2024年10月31日(木) 18:30-19:25 JST (オンライン)
7. 第3回役員会： 2024年11月21日(木) 18:30-20:10 JST (オンライン)
8. 第5回コア役員会： 2024年12月下旬予定

Awards & Recognition Activities

● 2024年 新 Fellow 表彰式

東京支部において、2024年に新たに6名の会員が Fellow に昇格した。表彰式を3月17日(金)の総会と同日に実施し、内4名が機械振興会館にて、相澤 Chair より、直接 記念のプラークを授与された。

● Milestone 贈呈式

1. パルスオキシメータ (2021-21) “Pulse Oximetry, 1972”

日本光電 11/14 に授賞式・講演会実施。

於日本光電西落合本社。

2. TRON 電腦ハウス (2023-28) “TRON Intelligent House, 1989”

TRON フォーラム 11/28 に授賞式、除幕式実施。

於東大ダイワユビキタス学術記念館。

Communication Activities (Newsletter, Home Page, E-mail etc.)

1. IEEE Tokyo Bulletin の作成、発行

- IEEE Tokyo Bulletin No.152 メルマガ発行 (1月24日)
- IEEE Tokyo Bulletin No.153 メルマガ発行 (2月28日)
- IEEE Tokyo Bulletin No.154 メルマガ発行 (4月1日)
- IEEE Tokyo Bulletin No.155 メルマガ発行 (4月26日)
- IEEE Tokyo Bulletin No.156 メルマガ発行 (5月16日)
- IEEE Tokyo Bulletin No.157 メルマガ発行 (7月31日)
- IEEE Tokyo Bulletin No.158 メルマガ発行 (9月5日)
- IEEE Tokyo Bulletin No.159 メルマガ発行 (10月11日)
- IEEE Tokyo Bulletin No.160 メルマガ発行 (11月18日)

2. ホームページ更新

[IEEE 東京支部]

- TOP ページ (新着追加)
- 2024年 主催・共催講演会 追加
- 2024年 協賛イベント 追加
- 2024年 IEEE 東京支部 総会・講演会・新 Fellow 表彰式 ご案内
- 2024年 IEEE 東京支部 総会/LMAG 総会 開催報告 活動報告
- 2023年 第4回、2024年 第1回、第2回、第3回 理事会議事録

[IEEE ジャパンカウンシル]

- TOP ページ (新着追加)
- 会員構成 最新データへ更新
- 2023年 第3回、2024年 第1回、第2回 理事会議事録
- New Fellows (2024) / Senior Member (2024) / Milestone (2024) 更新

[東京支部/JC HP 全般]

- 本部 Web Site 変更に伴う、関連ページ・リンク等の更新

3. R10 Newsletter

以下の通り、2024年に1件の記事が掲載された。

- Quarter 3: October Edition
 - a) LMAG-Tokyo Technical Tour 2024 「Visit to NTT Musashino Research and

Other Organizational Activities

● History Committee Activities

1. JCHC 委員会、見学会

JCHC 委員会を東京支部で開催支援。10/11 に東芝川崎にて実施した。新たに開館した東芝研究開発センターの新棟の見学会、懇親会の実施支援。

2. 東京 HC 対面打合せ

1/26、6/13、12/2(引継)に実施した。

3. 他支部との連携

JCHC 委員会で仙台支部より、東京支部での申請について相談があった案件、フラッシュメモリー、光ファイバー増幅器について、東京支部で調査支援を行うことになった。

4. Milestone (贈呈式)

- ・ パルスオキシメータ (2021-21) “Pulse Oximetry, 1972”

日本光電 11/14 に授賞式・講演会実施。

於日本光電西落合本社。

- ・ TRON 電腦ハウス (2023-28) “TRON Intelligent House, 1989”

TRON フォーラム 11/28 に授賞式、除幕式実施。

於東大ダイワユビキタス学術記念館。

5. Milestone (申請支援)

14 件の申請について支援および申請の準備を行っている。

以上

会員の状況

1. 東京支部会員数

(各年の12月末の会員数)

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
2000	6,961	268	4.00	-	265	416	5,259	727	294
2011	7,763	-102	-1.30	2	335	497	5,800	416	713
2012	7,987	224	2.89	2	343	511	5,959	372	800
2013	7,911	-76	-0.95	2	342	507	5,937	280	843
2014	7,849	-62	-0.78	2	346	517	5,985	245	754
2015	7,892	43	0.55	2	343	521	5,975	234	817
2016	7,835	-57	-0.72	2	343	532	5,982	210	766
2017	7,798	-37	-0.47	2	338	555	5,886	197	820
2018	7,850	52	0.67	2	333	569	5,892	202	852
2019	7,761	-89	-1.13	2	332	588	5,838	183	818
2020	7,601	-160	-2.06	2	329	610	5,736	187	737
2021	7,531	-70	-0.92	2	319	622	5,687	145	756
2022	7,558	27	0.36	2	316	622	5,659	135	824
2023	7,803	245	3.24	2	302	644	5,732	148	975
2024	7,994	191	2.45	2	293	670	5,704	150	1,175

2. 全日本会員数

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1956	50								
1964	666			1	8	105	302	99	151
1970	1,179	73	6.60	1	21	145	735	109	168
1975	1,915	198	11.53	-	46	173	1,400	99	197
1980	2,844	173	6.48	-	79	242	2,206	131	186
1985	4,249	253	6.33	1	144	331	3,404	197	172
1990	6,650	486	7.88	1	202	441	5,183	600	223
1995	8,892	547	6.55	1	288	552	6,643	1,021	387
2000	10,867	492	4.74	1	386	628	8,147	1,083	622
2005	12,703	450	3.67	3	480	711	9,494	800	1,215
2010	13,770	96	0.70	4	517	775	10,205	675	1,594
2020	13,798	-434	-3.05	3	481	1,108	10,177	324	1,705
2021	13,753	-45	-0.33	3	475	1,147	10,123	244	1,761
2022	13,845	92	0.67	3	470	1,170	10,072	233	1,897
2023	14,293	448	3.24	3	451	1,199	10,196	262	2,182
2024	14,642	349	2.44	3	447	1,260	10,177	264	2,491

略号： HM: Honorary Member
M: Member

F: Fellow
A: Associate

SM: Senior Member
St: Graduate Student, Student

IEEE 東京支部 2024年決算報告

2025.3.27

単位：JPY

2024年予算：US\$1=¥135-で試算
(2023年11月JC LRSCで検討 ¥140.00-¥5)

【収入の部】	2024年予算	中間 (11月末)	2025年決算	予算比	備考
210 Meetings & Social Events 定期開催 会議/懇親会参加費収入	0	221,072	259,072	-	講演会等の懇親会徴収分
290 Meetings & Social Events 不定期開催 会議/イベント 収入	0	0	0		
310 Rebate from IEEE HQ 支部Rebate YP Rebate LMAG Rebate WIE Rebate SB Rebate Chapter Rebate	3,601,260 39,825 29,700 39,825 133,920 1,073,250	4,767,404 47,418 47,418 47,418 76,833 1,378,356	4,767,404 47,418 47,418 47,418 76,833 1,378,356	132% 119% 160% 119% 57% 128%	全14ブランチのうち5ブランチ分のみ受領 代理受領分含む (SSC、PEL)
320 Region Receipts LMAG FUND YP FUND SIGHT FUND その他 Fund等	337,500 67,500 108,000 0	166,384 388,697 0 1,024,544	166,384 121,491 60,645 89,844	49% 180% 56% -	*一部相殺 SYWL YPイベント代理受領等、一部相殺
330 Sections or Councils JCからのSection Assessment還元	2,554,945	2,753,592	2,832,550	111%	SA総額の15% *後期分入金追加予定
332 Receipts from MGA(RAB, other Major Boards) 監査費用サポート	180,000	180,000	180,000	100%	
334 IEEE HQ & Societies 本部からのSection Assessment受取	17,032,964	18,883,668	18,883,668	111%	*後期分入金済み
340 雑収入 (CB口座)	5,000	272,343	296,473	5929%	
345 雑収入 (CB以外)	1,000	828	828	83%	
収入合計	25,204,689	30,255,975	29,255,802	116%	

【支出の部】	2024年予算	中間 (11月末)	2025年決算	予算比	備考
410 Meetings & Social Events 理事会・各委員会費 その他会合費 総会運営費用 講演会開催費用	300,000 200,000 650,000 500,000	242,822 156,000 749,643 159,592	467,687 239,000 749,643 289,392	156% 120% 115% 58%	Past Presidentとの会合など
430 Advertising IEEE (Expense) 広告費	1,000,000	536,585	536,585	54%	SMメダル購入および配布、ピンバッジ配布、タンブラー作成など
480 Student Activities SB支援費 SB Rebate支払	850,000 0	152,739 0	779,170 0	92% -	
490 Other Program Expenses LMAG活動費 (Rebate & Fund & 支部補助) YP活動費 (Rebate & Fund & 支部補助) WIE支援費 その他イベントへの支出など SIGHT (Fund支払)	455,000 640,000 1,050,000 0 590,000	254,150 777,968 98,092 249,926 139,071	477,642 777,968 542,701 805,040 139,071	105% 122% 52% -	Fund等込み (Fund取得済み 166384円) Fund等込み (Fund取得済み 121491円) HTC2024派遣費用など 打合せ会場費、イベント実施費用
550 Support to Sections/Chapters Councilへの拠出金 Chapter Rebate 支払い	17,032,964 1,073,250	18,355,781 1,082,712	18,880,668 1,320,100	111% 123%	* Chapterイベント費用代理支払い分含む
事務局費1 計	3,000,000	2,750,000	3,333,395	111%	(注釈1) JC共通事務局費 主に給料諸給/事務所賃貸料/事務機器リース等 (20%を東京支部負担)
事務局費2 計	500,000	458,333	326,855	65%	(注釈1) JC共通事務局費 サーバ運営費 (25%を東京支部負担)
事務局費3 計	340,000	294,553	303,928	89%	東京支部 監査費用・手数料・備品等・源泉徴収処理
予備費	800,000	400,000	0	0%	
支出合計	28,981,214	26,857,967	29,968,845	103%	

収入－支出	-3,776,525	3,398,008	-713,043		
前年度からの繰越金	15,712,044	15,712,044	15,712,044		*実際の残高に変更 (Cash base)
次年度への繰越金 (総額) (※)	11,935,519	19,110,052	14,999,001		(3,000,000円以上を半年分の運用資金とする)

(注釈1：事務局費1～2については中間は予算月割りの暫定額にて報告)

■12月末日 現預金残高(三井住友銀行+CB+小口)	14,999,001
内訳 普通預金	7,431,429
小口現金	20,000
CB口座	7,547,572

R00913 - Tokyo Section Income Statement from 2024-01-01 to 2024-12-31

Category	Category	Category	Category level 3		Amount
Income			2.10.000 000 Meetings & Social Events	¥	259,072
			2.60.020 020 Other	¥	-
			3.10.000 000 Rebate from IEEE	¥	6,003,975
			3.20.000 000 Region Receipts	¥	120,541
			3.30.000 000 Rec. Sections or Councils	¥	2,832,550
			3.32.030 030 Member & Geographic Activities	¥	180,000
			3.34.000 000 IEEE HQ & Societies	¥	19,486,664
			3.40.000 000 IEEE CB Account Interest	¥	296,473
			3.45.000 000 Non-IEEE CB Account Interest	¥	828
			3.70.000 000 Other	¥	-
		3.95.000 000 Bank Account Transfers (incoming)	¥	118,493	
		000 Bank Account Transfers (incoming)	¥	-	
		000 IEEE HQ & Societies	¥	-	
		000 Rec. Sections or Councils	¥	-	
		020 Other	¥	-	
		合計	¥	29,298,596	
	合計	合計	¥	29,298,596	
Expense			4.10.000 000 Meetings	¥	584,671
			4.10.1 Section Meeting	¥	1,161,051
			4.30.000 000 Advertising Expense - IEEE	¥	536,585
			4.80.000 000 Student Activities	¥	249,519
			4.80.2 Student Branch Support	¥	529,651
			4.90.000 000 Other Program Expenses	¥	2,654,076
			5.40.0 Taxes Expense	¥	-3,411
			5.50.000 000 Support to Sections/Chapters	¥	20,200,768
			5.60.000 000 Other Management & General Expense	¥	3,929,043
			5.65.0 Bank Service Charge	¥	38,545
		6.20.000 000 Other	¥	-	
		6.95.000 000 Bank Account Transfers (outgoing)	¥	118,493	
		合計	¥	29,998,991	
	合計	合計	¥	29,998,991	
Net Income				¥	-700,395

**Independent auditor's agreed-upon procedures report in respect of the annual report of
IEEE Tokyo Council for the year ended December 31, 2024.**

To the Chair of IEEE Tokyo Council

**Purpose of the Agreed-upon procedures (AUP) report and restriction on Use and
distribution**

Our report is provided solely for the purpose of assisting IEEE Tokyo in consolidating the annual report for the year ended December 31, 2024, has been prepared in accordance with Agreed Upon Procedures for IEEE Geographic Units and may not be suitable for another purpose. This report is intended solely for the chair of IEEE Tokyo Council and should not be used by, or distributed to, any other parties.

Responsibility of IEEE Tokyo Council

The chair of IEEE Tokyo Council has acknowledged that the agreed-upon procedures are appropriate for the purpose of the engagement.

The chair of IEEE Tokyo Council is responsible for the subject matter on which the agreed-upon procedures are performed.

Auditor's responsibilities

We have conducted the agreed-upon procedures engagement in accordance with Agreed Upon Procedures for IEEE Geographic Units. An agreed-upon procedures engagement involves us performing the procedures that have been agreed with the chair of IEEE Tokyo Council and reporting the findings, which are the factual results of the agreed-upon procedures performed. We make no representation regarding the appropriateness of the agreed-upon procedures.

This agreed-upon procedures engagement is not an assurance engagement. Accordingly, we do not express an opinion or an assurance conclusion.

Had we performed additional procedures, other matters might have come to our attention that would have been reported.

Procedures and Findings

We have performed the procedures described in the table below, which were agreed upon with the chair of IEEE Tokyo Council in respect of the Annual report.

	Procedures	Findings
1	Review the annual budget and compare it to actual financial statement (e.g Profit & Loss Statement). Evaluate differences that exceed plus or minus 10% of the budget for a particular line item.	We reviewed the annual budget, compared it to the actual financial statement, and examined any variances exceeding 10% of the budget for a particular line item.
2	Review meeting minutes for any decisions relating to Geographic Unit finances, including conferences, investment of surplus funds, awards, etc. Note any inconsistencies between the minutes and the financial records.	We reviewed the board meeting minutes to confirm the decisions made and ensure there was no inconsistency with the financial statement.
3	Verify whether Principles of Business Conduct and Conflict of Interest form was submitted by the geographic unit chair and treasurer & authorized bank signer(s) in a timely manner. Note conflict of interest, if any. Document test results.	We verified that the Chair submitted the Principles of Business Conduct/Conflict of Interest form.
4	Verify that all the Geographic Unit bank accounts (checking, savings, investments, fixed deposits, etc) are identified in the name of the IEEE unit, and a copy of all bank signature cards and signatories are on file at IEEE Headquarters for all such accounts.	We verified that all bank accounts, excluding the CB account, were opened under the name of IEEE Tokyo Council Treasurer and are maintained by IEEE Tokyo Council office.
	Verify that, in addition to two geographic unit officer signatures, the IEEE Staff Director of Financial Services appears as an alternate signatory on all external bank accounts.	We verified that all bank accounts were opened under the Treasurer's name in accordance with the bank's regulations.
	In territories where the IEEE Staff Director of Financial Services is precluded from being a signatory, ensure	Not applicable.

	a third officer/volunteer is the authorized signatory on all bank accounts. See FOM 3.5 for exceptions (external bank accounts in non-US territories, etc.);	
	Ensure all bank signer(s) of the account(s) submitted a Conflict of Interest form.	We verified that the Treasurer submitted the Principles of Business Conduct/Conflict of Interest form.
	Review a selection of randomly selected checks for self-written checks from NextGen Banking system. Select small dollar amounts, the selections should differ from the sample used in Disbursements Test #5a ; If exceptions are noted perform additional tests to validate expense and approvals.	Not applicable.
	Ensure the year-end balance is accurately recorded and reconcile to the external bank statements.A1	We ensured that the year-end deposit balance was accurately recorded and matched the bank balance certificate obtained from the bank.
5	Review bank deposit documentation for timeliness of deposits by comparing the dates on individual deposit slips. Where possible, the date appearing on checks that were deposited should be compared to the date the deposit was received by the bank, per the monthly statement.	We compared the journal vouchers with the bankbook to confirm that the deposit dates were appropriate.
6	Review bank account reconciliations for timeliness and accuracy.	We confirmed that the bank account balance matched the book balance, and no reconciliation adjustments were made.
7	Review investments accounts (if any) to assure:	Not applicable.
a)	All long term investment accounts are with IEEEE or other investments that	Not applicable.

	have been approved by IEEE Board of Director	
b)	Placed in approved Investment Funds	Not applicable.
c)	Investment balance(s) from Balance Sheet agrees with third party investment reports	Not applicable.
d)	Investment earnings/losses are properly recorded in the unit's books of account	Not applicable.
8	Review other accounts, e.g., savings , to assure that they are:	We reviewed the saving account and verified the account is properly recorded.
a)	Properly administered (i.e., savings account balances do not exceed the FDIC \$250K limit)	We reviewed the savings account balance, which did not exceed 10,000,000 yen at the end of the accounting period. In the event of a bank failure, this amount is protected under the deposit insurance system in Japan by the Deposit Insurance Corporation of Japan (DICJ).
b)	Earnings are properly recorded in the unit's books of account.	We reviewed the earnings are properly recorded.
c)	Agree financial balances to bank statements,	We verified the balance agreed to the bank statement.
9	If the Geographic Unit sponsors or co-sponsors conferences, trace conference revenues and expenses, reported in the conference's final financial reports, where applicable, to the amounts shown in the geographic unit's financial report. Conference(s) resulted in gross revenues or expenses of \$250K or greater required a separate audit report of the conference. In this case, the revenues and expenses reported in the financials will be traced to the amounts shown in the completed conference audit report.	Not applicable.
10	Review record keeping for loans and	Not applicable.

	advances made and repaid to conferences and others to ensure they are reported correctly in the financials.	
11	If applicable, ensure the Region Assessment or Section Rebate issued from IEEE HQ (allocation) and the associated fees (e.g. credit card fees where applicable) were properly recorded in the Profit & Loss Statement.	We ensured the Region Assessment and Section Rebate issued from IEEE HQ (allocation) and the associated fees were properly recorded in the Profit & Loss Statement.
12	For Section audit, assure that Subsection, Chapter and Affinity Group financial transactions, where applicable, are included in Section financial reports. Review any year-end adjustments for reasonableness and appropriateness.	We assured that Subsection, Chapter and Affinity Group financial transactions, where applicable, are included in Section financial reports. We reviewed any year-end adjustments for reasonableness and appropriateness.
13	Verify contribution received from individuals, corporations, and/or non-profit organizations and foundations were deposited and recorded properly in the Profit & Loss statement (if any).	Not applicable.
14	Verify that interest earned and service fees charged are correctly recorded in the unit's books of account and carried forward to monthly and annual reports.	We verified that interests earned and service fees are correctly recorded in the unit's books of account and carried forward to monthly and annual reports.
15	Verify all other reported revenue were deposited and recorded in the Profit and Loss Statement. Select all other revenue categories that are 10% or more of total revenue	We verified all other reported revenue were deposited and recorded in the Profit and Loss Statement.
16	Review all disbursements of \$3,000 USD (use professional judgement based on Unit size and financial results) or greater and a judgmental sample of transactions < than selected threshold, for adequate supporting documentation (receipts/invoices, expense report (for	We reviewed all disbursements of \$3,000 USD or more, as well as a judgmental sample of transactions covering an appropriate range. We verified that the transactions were adequately supported by documentation and had the appropriate authorizations.

	reimbursements), agreements, etc) and appropriate authorizations. Target Sample Size of 25 or 75% audit coverage. (For repetitive monthly payments in excess of \$3,000, e.g., rent payments, if any, we will review support for only one of the months' payments).	
	For payments made by check, ensure the signer and payee of the check are not the same person (i.e., travel and entertainment reimbursement checks prepared and issued to officers of the Geographic Unit, for instance).	Not applicable.
17	Verify whether payment(s) totaled to greater than \$25,000 USD or considered "high risk" contracts were reviewed and approved by IEEF and executed by an authorized signer from IEEF. Also, verify whether a contract is in place for payment(s) totaled \$5,000 or more and submitted to IEEF for central retention. Review signed contracts to ensure vendors followed the terms stated in the signed agreements.	Not applicable.
18	Where applicable, verify that W-9 forms have been completed for all individuals and unincorporated businesses that receive payments in excess of \$600 for rents, services (including parts and materials), prizes, awards and any other income payments. Assure that required individuals are included in Schedule of Payment for 1099s and submitted to IEEF for filing of 1099-MISC.	Not applicable.
19	Verify that all awards, grants, prizes or	We verified that all awards, grants,

	scholarships in excess of \$2,000 have been approved by the IEEE Awards Board.	prizes or scholarships in excess of \$2,000 have been approved by the appropriate authorizations.
20	Verify if there were any significant Furniture and Equipment (\$5,000 or more per unit cost) purchases and sales, etc.,. Ensure request for purchase approval was sent to IEEE and approved. Ensure the Controller's office was notified regarding the purchase for any capital item that cost \$5,000 or more.	Not applicable.
21	Review such other miscellaneous items that discussions with the geographic unit's representatives and completion of the above tests indicate are warranted.	We reviewed other miscellaneous items.
22	Document findings and recommendations, prepare draft "Agreed Upon Procedure" report, incorporate responses to findings from the geographic unit's representative and issue final Agreed Upon Procedures report with the financial figures reviewed.	We document our findings and recommendations and issue the final Agreed Upon Procedures report with the financial figures reviewed.

Mori & Co.

Date: March 25, 2025

2025 年活動計画

1. 総会及び理事会

- 2025 年 IEEE 東京支部総会

3 月 27 日(木) 14:50～15:25 機械振興会館にて開催予定

- 理事会

以下日程にて開催予定

第 1 回理事会: 2025 年 3 月 27 日(木) 12:00～14:00 機械振興会館

第 2 回理事会: 2025 年 6 月 20 日(金) 15:00～17:00 日立製作所(秋葉原)

第 3 回理事会: 2025 年 9 月 12 日(金) 15:00～17:00 日立製作所(国分寺)

第 4 回理事会: 2025 年 12 月 3 日(水) 15:00～17:00 日立製作所(秋葉原)

2. 財政運営

昨今の急速な円安の進行もあり、2024 年収支は健全。しかしながら為替変動は予断を許さないため円高リスクも考慮し安定した運営を目指す。2025 年度は、東京支部管内で開催される IEEE 本部や R10 関連のイベントも複数あり、支部でのサポートの必要が生じた場合に備えて予算も確保しつつ、通常の支部運営、会員獲得、会員継続、学会加入価値の向上に繋がる活性化施策の推進をこころがける。

3. 講演会・学生支援活動

- 東京支部講演会の開催

Technical Program Committee を中心に、多くの支部会員に参加してもらえるように広範囲な分野の講演会を企画する。LMAG (Life Members Affinity Group)、YP (Young Professionals) ほか各グループとの共催や関連学会との協賛を積極的に推進する。

- Students Branch の支援

東京支部の学生ブランチの数は、東京大学、東京工業大学、慶應義塾大学、横浜国立大学、東京都市大学(旧 武蔵工業大学)、東京電機大学、明治大学、東京理科大学、早稲田大学、中央大学、東京農工大、電気通信大学、青山学院大学、千葉商科大に加え 2024 年に千葉大学、東海大学が新たに加わりの 16 校となっている、日本全国の学生ブランチはその他、静岡大学、大阪大学、熊本大学、北海道大学、東北大学、立命館大学、京都大学、山口大学、香川大学、奈良先端科学技術大学院大学、名古屋大学、兵庫県立大学、徳島大学、関西大学、同志社大学、福井大学、琉球大学、会津大学、室蘭工業大学、東北工業大学、広島支部 SB、信越支部 SB、があり(全国合計 38 校)、それぞれ学生を中心として IEEE 活動が展開されている。

学生ブランチ活動の促進として、Region 10 主催の学生活動への積極的な参加の呼びかけを行うとともに活動が減少傾向にあるブランチへの働きかけを行う。JC SAC と連携して、イベント開催の経済的・技術的支援などを通じたブランチ活動の活性化と連携に協力する。他 Affinity Group とも連携してブランチ新設への働きかけを行う。

4. 若手会員及び Life 会員向け活動の活性化

2010 年 10 月に設立された Tokyo Life Members Affinity Group を中心に Life 会員自身の活動の活性化を支援する。また 2008 年 11 月に設立された Tokyo Young

Professionals を中心に若手研究者の活性化支援を行う。さらに LMAG、YP に加え、Student Branch・Japan Council、Women in Engineering との世代・分野・所属を超えた連携・交流を推進する。

- **Young Professionals**

2025 年は以下活動計画を検討。

- ・YP 説明会の実施:多くの IEEE 若手会員は、YP での活動に参加するチャンネルが現状ないため、YP の活動内容や魅力を紹介する会を実施する。
- ・IEEE Day Party の実施:コロナ禍で途絶えてしまったソーシャルイベントを復活し、ネットワーキングの場を拡充する。
- ・出産・子育て関連の体験談共有イベント:今後子供を持つ人のキャリアイメージを具体化したり、子育てのアイデアをもらえるような会を実施したいとの声があり、YP Salon などでの実施を検討。
- ・SB と YP の共催イベントを積極推進:学生のうちから YP と一緒に活動することで、YP でのような活動ができるのか早期から知ることができる。

- **Life Members**

3 月 27 日 LMAG 総会開催予定。LMAG 見学会、サロン、ニュースレターの発行など、引き続き Life 会員の交流を行う。

- **Women in Engineering**

Tokyo Shin-etsu Joint Sections WIE は 2020 年 7 月に設立され、東京支部および信越支部のメンバーが連携しながら活動を行なっている。2025-2026 は東京支部の野中先生が Chair となる。引続き信越支部とも協力しつつ両支部での WIE の認識と会員数の増強を目指したい。今後も他 AG と連携しながら活発にイベント開催し、WIE の周知および会員の勧誘を行う。

5. 認定及び表彰支援

- **Milestone 認定支援**

2014 年、日本で初めての Section 傘下の History Committee を常設委員会として発足した。今後も、Milestone 認定への取り組みを引き続き積極的に行う。マイルストーン推薦に不慣れな組織に関しては、推薦書作成、提出を代行することにする。また、JC-HC のホームページのサポートをおこなう。

- **IEEE Fellow の推薦支援**

「より多くのノミネーションを得る」「確実な昇格を果たすための支援・協力を行う」「WEB を活用した効率的なノミネーションプロセスの推進を行う」方針をベースに、Fellow セミナーや Senior セミナーなど、フェロー推薦、シニア申請を増やすための昨年までの方針を維持・強化する。また、他学会の Fellow や受賞者など、関連する組織と連携した Fellow 推薦についても JC と連携して推進強化することで推薦数増を図り、Fellow への昇格数の増加を図る。

6. 会員とのコミュニケーションと会員の拡大

(Newsletter, Home Page, E-mail etc.)

- ホームページと Tokyo Bulletin

東京支部ホームページの内容更新および拡充を進め、会員への情報サービスの向上を図る。Publications Committee が発行する IEEE Tokyo Bulletin (日本語、英語)を通じて、インターネットによる会員へのタイムリーな情報配信を行う。

- **会員数の増強**

会員数の増加率の低迷を改善するため、引き続き Membership Development Committee の活動の活性化、会員サービスおよび広報活動の強化などを通じて会員数の増加を図る。また、高グレード会員 (Fellow + Senior Member) の比率が、IEEE の全体平均より低い水準にあることを踏まえて、Senior Member の増強に向けて2024年から開始したシニアセミナーを継続し、新たな施策についても検討する。さらに、ホームページによる情報発信および効果的な活用を進め、支部独自の表彰制度の新設についての検討も行う。

7. Industry Promotion 活動の強化

東京支部が主催した MAW2015 に続き、関西支部主催で MAW2016、名古屋支部主催で MAW2017、福岡支部主催で MAW2018、仙台支部主催で MAW2019、広島支部主催で MAW2020、札幌支部主催で MAW2021、四国支部主催で MAW2022、2023 年は信越支部で MAW2023 が開催され、東京支部からも参加した。2024 年は IEW として東京支部主催で実施。2025 年は関西支部で開催予定。

8.東京支部が所管となる Joint Chapter の運営支援

当初、JC では、2022 年度から chapter 支援費に関して Tokyo section への移管を目指していたが、コロナ禍もあり、業務移管準備をほとんど進められなかったが、2024 年東京支部への移行を完了し、2025 年度には、関西支部、その後、他支部についても順次完全移行実施を目指す。Chapter 支援費のみ移管で引き続き Award 申請は移管の対象外とする。

9. 関連組織との連携、協力

- **Japan Council 運営の支援**

国内他支部 (8 支部) との連携を強化し、日本全体としての IEEE 活動の活性化に積極的に協力する。

- **IEEE 本部、R10 との連携**

Region 10 Annual Meeting に参加し、他参加者との交流を図る。

東京支部で開催予定の VICS2025、HTC2025 への支援を行う。

本部役員の訪日に対し、IEEE Japan Office と連携して、懇談会、講演会等を企画し、情報交換を行う。また、各種国際会議を積極的に開催・参加する。

本部および Region 10 の各種委員会メンバーおよび各種 Award に対して、東京支部から積極的に推薦する。

- **ソウル支部との交流**

2006 年 6 月に調印を行なったソウル支部との姉妹支部協定をふまえて、2008 年から実施している学生英語論文コンテストを継続開催するとともに、さらに交流活動として学生の交流を中心とした共同イベントをソウルまたは東京で開催することを計画する。東京支部のみならず、広く日本の IEEE の

学生活動の活性化につながるよう活動を推進する。

- **国内学会との協力関係の推進**

IEEE 本部の国内学会との協働に関するルールに沿って、国内関連学会との協力関係を推進する。

MOU 更新作業を継続する。

以上

IEEE 東京支部 2025年予算計画

2024.12.10

140

単位：JPY

2025年予算：US\$1=¥140で試算
(2024年11月JC LRSCで検討 ¥145.00-¥5)

【収入の部】	2024年予算	2024年決算	2025年予算	備考
210 Meetings & Social Events 定期開催 会議/懇親会参加費収入	0	259,072	0	
290 Meetings & Social Events 不定期開催 会議/イベント 収入	0	0	750,000	
310 Rebate from IEEE HQ 支部Rebate	3,601,260	4,767,404	3,844,260	\$27,459- (2024年実績で試算)
YP Rebate	39,825	47,418	41,300	\$295- (想定、2024年度実績)
LMAG Rebate	29,700	47,418	41,300	\$295- (想定、2024年度実績)
WIE Rebate	39,825	47,418	41,300	\$295- (想定、2024年度実績)
SB Rebate	133,920	76,833	66,920	\$478- (想定、2024年度実績)
Chapter Rebate	1,073,250	1,378,356	886,200	\$6330- (想定、2024年度実績)
320 Region Receipts LMAG FUND	337,500	166,384	70,000	\$ 500予定
YP FUND	67,500	121,491	0	
WIE FUND	0	0	0	
SIGHT FUND	108,000	60,645	84,000	\$ 600予定
その他 Fund等	0	89,844	0	2024年 Section Incentive は無しの予定
330 Sections or Councils JCからのSection Assessment還元	2,554,945	2,832,550	2,581,589	SA総額の15%
332 Receipts from MGA(RAB, other Major Boards) 監査費用サポート	180,000	180,000	180,000	
334 IEEE HQ & Societies 本部からのSection Assessment受取	17,032,964	18,883,668	17,210,595	\$ 122932.82(2024年実績で試算)
340 雑収入 (CB口座)	5,000	296,473	10,000	
345 雑収入 (CB以外)	1,000	828	1,000	
収入合計	25,204,689	29,255,802	25,808,464	
【支出の部】				
410 Meetings & Social Events 理事会・各委員会費	300,000	467,687	550,000	
COC			20,000	申請回答あり
FNC			0	
MDC			0	
PC			0	
HC			230,000	申請回答あり
その他会合費	200,000	239,000	100,000	
総会運営費用	650,000	749,643	800,000	
講演会開催費用 (TPC)	500,000	289,392	650,000	申請回答あり
430 Advertising IEEE (Expense) 広告費	1,000,000	536,585	1,000,000	SMメダル購入、メダル・ピンバッチ送付費用
480 Student Activities SB支援費	850,000	779,170	850,000	申請回答あり
SB Rebate支払	0	0	66,920	入金予定想定分
490 Other Program Expenses LMAG活動費 (Rebate & Fund & 支部補助)	455,000	477,642	310,000	申請回答あり
YP活動費 (Rebate & Fund & 支部補助)	640,000	777,968	700,000	申請回答あり
WIE支援費	1,050,000	542,701	1,055,000	申請回答あり
その他イベントへの支出など	0	805,040	0	
SIGHT (Fund支払)	590,000	139,071	290,000	申請回答あり
550 Support to Sections/Chapters Councilへの拠出金	17,032,964	18,880,668	17,210,595	
Chapter Rebate 支払い	1,073,250	1,320,100	886,200	
事務局費				
事務局費1 計	3,000,000	3,333,395	3,000,000	JC共通事務局費 主に給料諸給/事務所賃貸料/事務機器リース等 (20%を東京支部負担)
事務局費2 計	500,000	326,855	500,000	JC共通事務局費 サーバ運営費 (25%を東京支部負担)
事務局費3 計	340,000	303,928	340,000	*全体で200万円計上予定 東京支部 監査費用・手数料・備品等
予備費				
HTC2025準備金 (貸付)			750,000	
その他	800,000	0	800,000	各種イベントへの派遣旅費、その他
支出合計	28,981,214	29,968,845	29,858,715	
収入－支出	-3,776,525	-713,043	-4,050,251	
前年度からの繰越金	15,712,044	15,712,044	14,999,001	
次年度への繰越金 (総額 活動基準) (※)	11,935,519	14,999,001	10,948,749	(※3,000,000円以上を半年分の運用資金とする)

2025年東京支部新Fellow

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	全 炳河 Heiga Zen	Google DeepMind	<i>for contributions to generative model-based speech synthesis</i>
2	東京	樋口 健一 Kenichi Higuchi	東京理科大学	<i>for contributions to cellular wireless communications technology and standards</i>
3	東京	高宮 真 Makoto Takamiya	東京大学生産技術研究所	<i>for contributions to digitally controlled integrated power management circuits</i>
4	東京	重松 昌行 Masayuki Shigematsu	住友電気工業	<i>for contributions to realization of low loss optical transmission lines and gain flattened optical amplifiers</i>
5	東京	鈴木 輝彦 Teruhiko Suzuki	ソニー	<i>for contributions to video coding for professional and consumer products</i>

2025年他支部新Fellow

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	関西	原田 博司 Hiroshi Harada	京都大学/ 情報通信研究機構	<i>for technical leadership and contributions in wireless smart utility networks and software-defined cognitive radio</i>
2	関西	篠原 真毅 Shinohara Naoki	京都大学	<i>for contributions to wireless power transfer technologies and applications</i>
3	関西	松下 康之 Yasuyuki Matsushita	Microsoft Research	<i>for contributions to photometric 3D modeling and computational photography</i>
4	四国	西尾 芳文 Yoshifumi Nishio	徳島大学	<i>for contributions to new nonlinear phenomena and effective model creation for large coupled nonlinear systems</i>
5	信越	伊東 淳一 Junichi Itoh	長岡技術科学大学	<i>for contributions to high-power density power converters based on circuit topology</i>

2025年IEEE Medals, Technical Field Awards, 日本からの受賞者

【Medals】

No.	名称	氏名	Citation
1	IEEE Jagadish Chandra Bose Medal in Wireless Communications	尾上 誠蔵 (NTT)	<i>For contributions to the development, collaborative facilitation, and deployment of 3G and 4G mobile communication systems through R&D and global standardization.</i>

【IEEE Technical Field Awards】

No.	名称	氏名	Citation
1	IEEE WILLIAM E. NEWELL POWER ELECTRONICS AWARD	河村 篤男 (横浜国立大学)	<i>For pioneering contributions to deadbeat control of PWM inverters and the subsequent development.</i>

【IEEE Technical Field Awards】

No.	名称	氏名	Citation
1	IEEE CORPORATE INNOVATION AWARD	キオクシア株式会社	<i>For contributions to enable low-cost and high-capacity three-dimensional NAND flash memory.</i>

The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. Tokyo Section Bylaws

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, RAB Operations Manual and IEEE Policy and Procedures will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

Article I - Name and Territory

1. This organization shall be known as the Tokyo Section of The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc., hereinafter called the IEEE Tokyo Section.
2. The territory of the IEEE Tokyo Section, as approved by the Regional Activities Board, shall be the Kanto district in Japan with postal codes starting 100 through 379 and 400 through 409. (Note: The members whose postal codes are not recorded in the IEEE database shall tentatively belong to the Tokyo Section until they are clarified.)

Article II - Officers

1. The elected officers of the Section shall be the Chair, Vice Chair, Secretary and Treasurer, hereinafter called the Section Officers. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.
2. The terms of office of the elected officers shall be for two (2) years.
3. The terms of office will begin on 1 January but in any case the outgoing Officers will continue until their successors are duly elected and take office.
4. Any vacancy occurring during the years shall be filled for the remainder of the term by a majority vote of the Section Executive Committee.
5. The consecutive period of service in any one office shall not exceed three years. However, an office may not serve more than one successive two-year term without approval of the Regional Director.
6. The duties of the Section Officers will be available from Regional Activities Department (RAD).

Article III - Standing Committees

1. The Standing Committees of the Section will be as follows:
 - Chapter Operations
 - Fellow Nominations
 - Membership Development
 - Nominations
 - Technical Program
 - Publications
 - Student Activities
 - History
2. The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and its term will correspond to the elected officers.
3. Each Standing Committee Chair will appoint his/her committee members with approval from the Section Executive Committee, and their terms will correspond to the elected officers.
4. Duties of the Standing Committees will be available from Regional Activities Department (RAD).

Article IV - Management

1. The management of the IEEE Tokyo Section shall be conducted by the Section Executive Committee which shall consist of the elected Officers, the Past Section Chair, the Standing Committee Chairs, representatives from Society Chapters and such other members appointed by the Section Chair and/or Section Executive Committee. The number of the Section Executive Committee members shall not exceed nineteen (19) and the number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.
2. A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.
3. A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of Section business.
4. Meetings of the Section Executive Committee will be held at least four (4) times a year, and will be called by the Chair or by a request of any three (3) members of the Section Executive Committee.
5. The fiscal year of the Section shall be 1 January - 31 December.

Article V - Nomination and Election of Officers

1. The Nominations Committee consisting of three (3) or more members, not then Section Officers, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.
2. The nominations by the Nominations Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of twenty-eight (28) days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by two percent (2%) or more voting membership.
3. If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot mailed to the membership. The votes will be counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.
4. The timetable for this procedure is as follows:

Announce nominations	by 31 August
Close nominations by petition	by 30 September
Mail a ballot, if required	by 31 October
Hold elections	by 30 November
5. A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

Article VI - Business Meeting

In order to transact business at a Section meeting, at least three (3) Section Executive Committee members must be present to constitute a quorum.

Article VII - Finances

1. All expenditures of Section funds must be approved by the Section Executive Committee.
2. Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can only be used for normal operations of the Section.
3. The Treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.
4. An assessment can be charged to members of the Tokyo Section in accordance with the IEEE Bylaws.

Article VIII - Amendments

1. Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by twenty percent (20%) or more voting members.
2. Amendment to or revocation of these Bylaws shall require a two thirds ($\frac{2}{3}$) majority vote of the Section Executive Committee.

3. Following the approval of the IEEE Tokyo Section, amended Section bylaws must be submitted to the IEEE Regional Activities Department (RAD) for review. RAD staff will then secure the approval of the Region Director, following up where necessary with the Section ExCom. The bylaws will not be effective until such time as they have been approved by the Regional Activities Board.

-
- The Tokyo Section Executive Committee approved the revision at its meeting on 29th March 2016.

事務局連絡先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館 517 号室

Tel: 03-5776-7670

Fax: 03-5401-3850

Email: tokyosec@ieee-jp.org